

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

F. その他

④その他

《人社系》

●北海道大学法学研究科法学政治学専攻

「バックグラウンド多様化を活かす大学院教育」の事例

＜事業を推進するのに不可欠な人員の確保と維持＞

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

特任助教や事務担当者の安定雇用に著しい支障が生じた。

(苦勞したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

予算の配当が1年目(実質半年足らずの事業期間)に偏りすぎており、また毎年度の配当額が不確定なため、長期的視点からの、特任助教や事務担当スタッフの安定雇用、維持が非常に困難であった。最後は、実質ボランティアで翻訳や通訳をしてもらうことになった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

2年目、3年目の配分額を事前に決定し周知すること。1年目と2年目以降の配分額の極端なアンバランスを避けること。